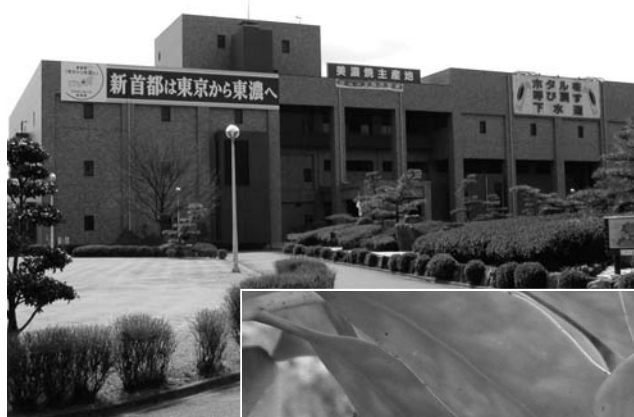




ホタルが暮らす街をめざして

～土岐市浄化センターの取り組み～



下水道は、汚れた水をきれいにして川や海に戻し、私たちが生活していく上で必要不可欠な資源である水を守るという大切な役割を果たしています。

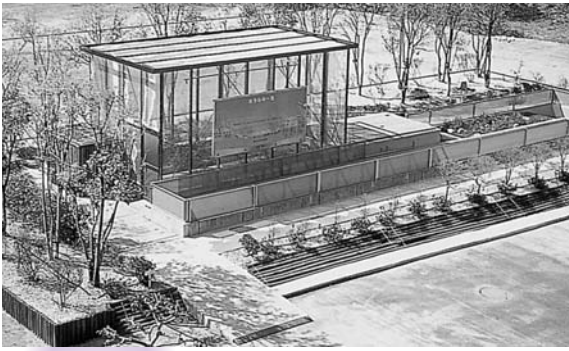
浄化センターは、一日に市内一万四千五百七十七戸、三万五千五百七十七人から出される一万二千トン（中学校のプール約二十杯分）もの汚水をきれいな水にして土岐川に戻っています。

そこで今回は、このように重要な施設でありながらも、悪臭や騒音のイメージから迷惑施設と言われがちな浄化センターのホタルを通じた環境への取り組みを紹介します。

先進的な施設で 先進的な取り組み

昭和六十年四月にオープンした浄化センターは、悪臭や騒音などの環境対策に配慮し、全機械設備を屋内に納め、建物を総タイル張りにするとい

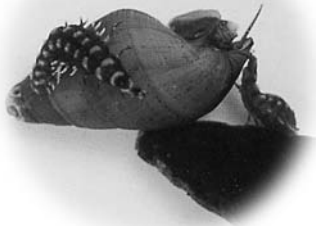
う、十九年経った現在でも先進的といえる施設です。そうした施設のPRや下水道による水環境保全のPRを目的として、平成四年には「ホタルを呼び戻す下水道」を合



使ったホタルの飼育を始めました。下水処理水だけを使った飼育は、全国的にも珍しい取り組みで、現在では、屋外飼育水路やせせらぎ水路などの施設も整い、多くのホタルが場内で見られるようになりました。

十六万匹の 赤ちゃんが誕生

昨年は、屋外飼育水路などで千二百二十四匹のゲンジホタルが羽化し、さらに試験室で産卵させた卵から約十六万匹の幼虫をふ化させることができました。



▲カワニナを食べる幼虫

このうち十二万匹を市内二十カ所の川などに放流すると

ともに、浄化センター内で九十個の水槽と二十八個のコンテナを用いて四万匹の幼虫を飼育しています。ホタルは一匹が成虫になるまでに四十〜五十匹ものカワニナを食べるため、浄化センターではカワニナの飼育繁殖も行っています。

市民参加で ホタルが喜らす街を

こうした浄化センターの取り組みを市民の皆さんに理解していただくため、ホタルまつりを開催したり、子供会などにより市内の各所でホタルの幼虫を放流していただいています。

平成七年からの放流数は、延べ四十六万匹にもなり、最近では、ホタルが見られたという情報も寄せられるようになりました。

今後も、市民の皆さんとともに、水環境保全のシンボルとして、ホタルが飛び交う水環境作りに取り組みます。

市制50周年記念事業

土岐市ホタルまつり & 下水道まつり

日時 6月19日(土)
午後6時～9時

場所 市浄化センター

浄化センターでは昨年に引き続き、下水処理水で育てたホタルの乱舞を皆さんに見ていただこうと、ホタルまつりを開催します。

また同時に、下水道まつりを開催し、下水道の大切さを知っていただくための各種の展示や縁日広場も行います。

ご家族、お友だちとお誘い合わせの上、ぜひお出かけください。

主な催し

- 演奏会 (午後6時～7時30分)
土岐津炎太鼓、土岐市消防音楽隊などの演奏
- 縁日広場 (午後6時～7時30分)
かき氷、ポップコーン、スーパーボールすくいなど (いずれも無料。無くなり次第終了)
- 婦人会バザー (午後6時～7時30分)
五平もち、みたらしだんごなどの販売 (無くなり次第終了)
- 各種展示コーナー (午後6時～9時)
ホタルに関する資料、各種下水道機器などを展示
- 抽選会 (午後7時40分～8時)
家庭用工具セットなど素敵な景品が当たります。
- ホタル鑑賞会 (午後8時～9時)
会場内のせせらぎ水路に飛び交うホタルをご鑑賞ください。
※20日(日)の午後8時～9時も開催します。

シャトルバスをご利用ください

当日は、駐車場が混雑しますので、市役所駐車場をご利用ください。無料シャトルバスで送迎します。※運行は午後5時45分から詳しくは、浄化センター ☎ 4315 へどうぞ。